



理想的な 女性経営者を 目指すには

「女性らしさ」を武器にする

一般的にいわれる女性ならではの特性「共感性」「気配り」「柔軟性」は、戦略的な経営資源と認識しましょう。これらは顧客・従業員・取引先との関係性を重視することに繋がり、ブランディングやファンづくりに直結します。「女性らしさ」は弱点ではなく、「顧客の視点」「生活感のある提案力」と考え、積極活用すべきです。

自身のキャリアに自信を持つ

何かにつけ自分自身を過小評価してしまう女性経営者を時折見かけます。謙虚に遠慮する姿勢が度を超えると、リーダーシップが欠如していると見られかねません。「私なんてまだまだ…」ではなく、これまで積み上げてきた実績を振り返り、自信を持つ習慣を付けましょう。これは自己認識と決断力の強化に繋がります。

ネットワークは自力で作る

経営者になると、孤独を感じる事が少なからずあります。部下に弱音を見せまいとするあまり、無理をして精神的に病んでしまう方もいるほどです。そんな時に相談できる相手や協業先を持つことは大切であり、自社の成長にも貢献します。経営者団体、女性経営塾、異業種交流会等への参加は、共感できる仲間づくりに最適です。

決断のルールを決めておく

慎重に判断する姿勢は女性の長所ではありますが、せっかくのチャンスを逃さない“勇気”も必要です。決断に迷ったら「自社の価値観」「顧客への影響」「数字で割り切る」等、自分なりの判断軸を持つことも有効です。完璧を求めすぎず、「7割くらい出来たら次に進む」といったマイルールを決めておくこともいいでしょう。

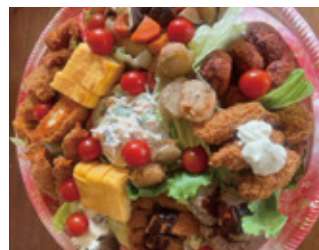
“分ける”より“重ねる”

女性経営者にとって、仕事と家庭の両立に対する悩みは尽きません。この場合、経営とプライベートを“分ける”ではなく、“重ねる”と考えてはいかかでしょうか。たとえば育児、介護の経験は、組織づくりや商品開発に活かれます。社員のライフステージに対する理解にも繋がり、結果的に人が育ち・定着する会社づくりも実現できそうです。

		合同会社 おとずれ モンシェリ企画社 【鶴見・扇山支部会員企業】 代表社員 藤野 美枝 氏	新別府店 別府市新別府2組1 石垣店 別府市石垣西10-4-55 TEL.090-7388-2010 (弁当受付) 日曜・祝日定休 URL https://www.instagram.com/otozu_re/
---	--	--	--



「おとずれ」の手作り弁当は老若男女を問わず人気です



行楽シーズンのオードブルも評判です



可愛い店構えの「おとずれ」石垣店



なごやかな雰囲気のお店づくりを心がけています



藤野美枝 代表社員

大切な人たちへの感謝の気持ちを忘れない

2024年11月、別府市石垣の九州横断道路沿のコンビニに隣接するビルの1階に、弁当の店がオープンしました。店名は『おとずれ』。ピークとなるお昼前になると、多くのお客さまがお目当ての弁当を買いに“おとずれ”ます。美味しくてボリュームたっぷり、リーズナブルな料金が人気を集めており、13時前後にはすべての弁当が売り切れになってしまいます。あらかじめ朝7時から受け付けている予約申し込みをしたうえで来店される常連客も多いと聞きます。

「もともと父親が別府駅前で土産品店と喫茶店を営業していました。その喫茶店の名が『おとずれ』で、同じ店名を引き継いでいます。調理師の資格を持っている父は、今もお弁当づくりの中心的存在で、私も父の味をしっかりと伝授できるよう修業中です」

こう話すのは、『おとずれ』を運営する合同会社モンシェリ企画社の藤野美枝代表社員。本店となる新別府店も人気で、別府市内であれば企業や建設現場の事務所への配達も行っており、『おとずれ』弁当ファン

は沢山いるようです。

「とり天弁当、焼肉弁当などボリュームのあるお弁当が人気ですね。事前予約される方のなかには、ご希望のおかずの盛り付けを希望される方もいらっしゃいます」

石垣店の従業員も同席しながらの取材は、終始なごやかで笑いが絶えず、お店の雰囲気が伝わってくるようです。「スタッフは全員が女性です。藤野代表は、私たちと同じ目線に立って接してくれるので、楽しく働ける職場づくりが出来ていると思います」と、中島葉月チーフは話します。

「私はこれまで調剤薬局の事務員としてしか働いたことがなく、飲食業も接客業も初めてのチャレンジでした。これまで沢山の迷いや悩みもありましたが、スタッフから学ぶことも多く、彼女たちには感謝しています」

社名の「モンシェリ」は、フランス語で“大切な人”という意味があります。お客さまに、スタッフに、モンシェリ企画社にとって大切な人は、日を追うごとに増えているようです。

		株式会社 ミヤマ電気 【高城支部会員企業】 代表取締役 実山 香代子 氏	大分市三川下2-2-21 TEL.097-551-8117 URL https://miyamadenki.com
---	--	---	---



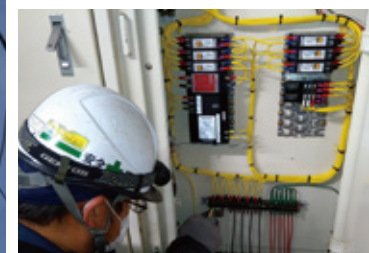
九州電力認定会社として各種電気工事を請け負っています



大型プラントから事務所や家庭用設備まで対応



大分市三川の本社事務所



従業員には徹底した安全管理を呼びかけています



実山香代子 代表取締役

“家業”から“企業”へ。成熟した会社づくりを目指す

電気・通信・省エネ設備など、重要な社会インフラを支える電気工事業は、関連市場の拡大に伴い、その需要はますます高まりつつあります。

大分市三川の株式会社ミヤマ電気は、1969年創業・1978年法人設立という業歴を持つ電気工事会社です。各種工場・プラント設備から公共事業、一般家庭に至るまで、あらゆる電気工事・設備の設計・施工を手がけてきた実績が、同社の信頼度を裏打ちしています。実山香代子代表取締役は、大学卒業後に広告代理店勤務を経て現職に就いた、業界では異色の経歴を持つ女性社長です。「創業者である父・実山浩三が1992年に49歳で急死し、後を引き継いだ母を支える形で入社して、3代目社長に就任したのは2014年でした。最初はわからないことばかりで挫折しかけたこともありましたが、父と一緒に当社を立ち上げた時のメンバーであり、現場に詳しい首藤安博常務の心強い存在もあって、今日に至っています」

自らも電気工事関係の資格を取得し、実務・営業関係は首藤常務、管理・財務・経営全般は実山社長と、良好な

コミュニケーションの下、バランスのとれたマネジメント運営を行っています。男性的イメージが強い業界ですが、実山代表のキメ細やかで誠実な姿勢は、首藤常務や現場管理者のサポートもあり、全社的に共有されているようです。「電気は目に見えないぶん、安全面において細心の管理体制が求められます。エコ志向やデジタル化など、新しい知識と技術が必要な時代でもあり、人材育成にも力を入れていかねばなりません」

実山代表は大分県中小企業家同友会や各種勉強会へも積極的に参加し、経営者としての心構えや企業モラルに至るまで、幅広い知識を修得しています。人手不足が深刻化するなか、いわゆる個人事業者的な色合いの強い“家業”から、“企業”への意識改革も求められます。「父は常に『会社をどうするかは全員で考えよう』というタイプだったと聞いています。私自身も、ブレない信念を大切にしながら、臨機応変な舵取りをしていきたい」

実山代表が体現する、しなやかな経営方針に期待が寄せられます。